

を検索できるようにしています。

また、留学生支援事業も行っており、生活用品の不足への対応や、名所旧跡の案内、地域住民との交流会の開催などを行っています。



花いっぱい運動の様子

川渡り神幸祭ゴミポイ捨てようキャンペーン

「田川未来塾」では、子どもたちへの環境学習も行っていますが、学習に参加していた子どもから「神幸祭のゴミが汚い」という指摘があったそうです。毎年大変な賑わいをみせる風治八幡宮の「川渡り神幸祭」ですが、散乱するゴミが多かったのです。目に留まっていなかったゴミの散乱を指摘され、「目から鱗の思いだった」と植木さんは話します。

それから「田川未来塾」では「川渡り神幸祭ゴミポイ捨てようキャンペーン」を開始しました。当初は、祭りの会場内に大型のゴミかごを20個設置し、祭りの最中にゴミを回収していましたが、分別するためにゴミかごをひっくり

返す必要があり、大変な労力を要したそうです。近年は、段ボール製のゴミ箱に変更し、表面には子どもたちに絵を描いてもらうことで目立たせたところ来場者の意識が変わり、大幅な環境改善に繋がったとのこと。



川渡り神幸祭で設置したゴミ箱
子ども達の力作です

今後の活動について

たくさんの活動を長年継続してきた「田川未来塾」ですが、メンバーの高齢化により、継続が難しくなっているそうです。今後の活動については「学生を含めた若者の入会に努めるとともに、福岡県立大学の留学生に対して行ってきた生活支援の発展形として、田川市にいられている留学生や外国人技能実習生を含めた国際交流協会等の設立を目指したい」と意気込みを語ってくれました。

「田川未来塾」の長年にわたる活動は、地域の活性化に大きな影響を与えてきました。今後も様々な活動で地域を盛り上げてくれることでしょう。

県庁お知らせ掲示板

職場での健康づくりに取り組む 「ふくおか健康づくり団体・事業所宣言」 登録事業所を募集しています!

福岡県では、職場での健康づくりに積極的に取り組む県内の事業所等を「ふくおか健康づくり団体・事業所」として登録し、その取組みを応援しています。

▶登録の主なメリット

- ・企業イメージの向上 ・生産性向上や医療費の負担軽減
- ・県の入札参加資格審査での加点
- ・「ふくおか県政推進サポート資金」による融資
- ・「健康づくり実践アドバイザー」を無料で派遣
- ・優良事例を福岡県知事が表彰

登録はこちらから ▶▶▶▶▶



お問合せ

健康増進課

TEL.092-643-3269

「ふくおか健康ポイントアプリ」

県が配信している「ふくおか健康ポイントアプリ」は、歩数や日々の体重、血圧、食生活、運動や健(検)診の受診が記録できる健康アプリです。

アプリには歩数や健康記録、健(検)診記録、健康イベントへの参加、献血、お知り合いの紹介などでポイントが貯まります。ポイントを貯めると特典協力店でサービスが受けられるほか、素敵な商品が当たる抽選の対象になります♪

アプリを使って、楽しみながら健康づくりに取り組みましょう!

アプリのダウンロードは
こちらから



<https://fukuoka-kenko.biz>

きずな

No.17

令和2年
11月発行



福岡県

【目次】

まほろば自然学校 (太宰府市).....	1・2
田川未来塾 (田川市).....	3・4
県庁お知らせ掲示板.....	4

■ まほろば自然学校 (太宰府市)

自然環境保全・環境問題を考えるきっかけに

～まほろば自然学校 (太宰府市)～

福岡県の中部に位置し、数多くの史跡・名所が存在する太宰府市。新元号「令和」発祥の地としても有名で、毎年990万人余りの観光客が訪れる観光都市です。宝満山や四王寺山など豊かな自然にも恵まれています。



まほろば自然学校 代表理事 岩熊 志保さん

今回は、太宰府市を拠点とする「まほろば自然学校」の環境活動・環境教育活動について、代表理事の岩熊志保さんからお話を伺いました。

「まほろば自然学校」は、子どもたちをはじめとした多くの人に生物多様性の重要性や価値を理解してもらい、自然環境保全・環境問題などに取り組む人材の育成を目標に活動しています。

運営メンバーは岩熊さんとスタッフの2人のみですが、活動に参加している子どもたちの保護者や、岩熊さんが講師をされている大学の学生が活動に協力しています。

太宰府市民の森での環境活動

「まほろば自然学校」の主要な活動の1つとして、「太宰府市民の森」での触れ合い活動があります。不定期に森を開放しており、参加者は昆虫や鳥、カエル、植物などさまざまな野生生物と触れ合うことで身近な自然環境の魅力を再発見することができます。

毎月第2土曜日には森に設置したビオトープの整備に参加者と一緒に行っています。野生生物の保全をしていくためにも、ビオトープの整備は欠かせません。



ビオトープでの活動風景

自然に興味を持つきっかけづくり

「太宰府市民の森」での活動は、自然や昆虫が好きな子どもたちが積極的に参加していますが、「自然環境や昆虫に興味がない子どもたちも興味を持つきっかけを作りたい」という岩熊さんの思いから、太宰府市内全ての小学校の子どもたちに情報誌「いきもの」を不定期に配布しています。



太宰府市民の森で昆虫採集

学校教育の中に環境教育を

近年、学習指導要領で環境教育に関する内容が盛り込まれ、子どもたちは学校で自然環境について学んでいます。「まほろば自然学校」では、「しぜん・いきもの」の専門家として今ある授業の中に、より深い学びを提供したい」という思いから、専門的知識・経験を活かして、太宰府市内の小学校で環境授業の講師をしています。

また、令和2年度は大野城市の**共働事業提案制度**(注1)に採用され、「小学校における生物多様性の保全に関する環境教育事業」を開始しました。この事業で太宰府市内の小学校で行ってきた環境授業の取組を、大野城市の小学校にも広げました。

(注1)共働事業提案制度

市民等の柔軟な発想を活かした提案を募集し、提案団体と市との共働による相乗効果を発揮することで、市民に対するよりきめの細かいサービスを提供するとともに、地域課題の効果的・効率的な解決や地域活力の向上を目的として実施している。



環境授業の風景

今後の活動について

「やりたいことをやってきたため、これまでの活動を行ってきた中で苦労はなかった」と語る岩熊さん。今後は、スタッフを含めた若い人たちの育成にも力を入れていきたいとのこと。

現在は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため一部の活動を縮小・中止している状況にありますが、Facebookで活動内容を掲載していますので、ぜひ覗いてみてください。

田川の「夢と活力あるまち」をめざして

～田川未来塾（田川市）～

田川市は、福岡県の北東部に位置し、東に香春岳、西に船尾山、南に英彦山を望む三方山で囲まれた田川盆地の中心都市です。福岡県五大祭りの1つに数えられる風流八幡宮の「川渡り神幸祭」が有名で、祭り期間中は市内外から多くの人々が訪れます。

今回は、田川市を拠点とする「田川未来塾」の長年にわたる活動について塾長の植木康太さんから話を伺いました。



田川未来塾 塾長 植木 康太さん

「田川未来塾」は「**筑豊ゼミ**」(注2)に入会していた田川の人々が集い、田川のことを考え、活動をしようと太田勇司氏(当時田川市立病院外科部長、現在福岡記念病院副院長)を中心に平成3年に設立されました。活動は環境・情報・文化をテーマに行っています。これまでの「田川未来塾」の活動内容を一部ですが紹介します。

・NPO法人 遠賀川流域住民の会 創設

「田川未来塾」を中心に「田川のふるさと川づくり交流会」を発足し、子どもたちへの環境学習や田川地域の河川環境改善(ゴミ拾い等)を行う。同交流会が遠賀川流域の他団体と「遠賀川流域住民の会」を創設し、活動を広げている。

・先進地視察(英国ウェールズ州カーディフ)

イギリス発祥の「グラウンドワーク」という市民・行政・企業のパートナーシップによる環境改善活動(花壇の整備等)を視察。後に「田川未来塾」で実践交流会を開催、その時に造った記念花壇(田川第一ホテル横)に22年間花を咲かせ続けている。

・まるちめでいあ講座(パソコン)開催

1990年代初頭、ITが今後普及していくことを見越し、パソコン講座を開催。初心者向けから、HPの作成といった専門的な内容まで講座を行い、地域住民のスキルアップに貢献。

・田川未来塾プリンティングセンター開設

輪転機やコピー機を設置し、いつでも誰でも最低経費で印刷できるプリンティングセンターを開設。広報活動等で必須となる印刷機器は地域の各種団体に重宝された。

・ばんだごおらウッディーテラス作り

子どもたちや地域住民に川に親んでもらう取組と

して平成3年に「川は友だち」を開始。建設省(現 国土交通省)支援の下、子どもたちが間伐材の丸太を敷いて「テラス」を製作した。経年による丸太の腐敗から、現在はコンクリート張りのテラスとなっている。

(注2)筑豊ゼミ

ふるさと・筑豊の「豊かなまちづくり」という理念のもと、地域の文化、教育、環境などあらゆる分野で活躍できる人材を育成するため、近畿大学九州工学部の全面協力を得て誕生した会。



河川環境改善活動



ウッディーテラス作り

福岡県立大学と共に歩む

「田川未来塾」は平成5年に「福岡県立大学と共に歩む会」を創設し、新入生を歓迎するため、プランターに植えた花を大学構内に飾り付ける「花いっぱい運動」を行いました。その後、この運動を継続し、現在では新入生歓迎行事のみならず、大学からJR田川伊田駅までの通学路も花いっぱい学生さんたちをお迎えしています。

その他の活動として、「県外から入学した学生に田川の生活を楽しんでほしい」という会員の思いから、田川市近隣の飲食店や公共施設、パワースポットを掲載した情報誌「YOU・遊・マップ・たがわーど」を作成し、新入生に配布しています。平成7年から5年ごとに改訂を行っているほか、インターネット上に「田川のグルメ情報サイト YOU・遊・マップ・たがわーど」を開設し、より新しい情報